

「見える安全活動」報告書

[活動のタイトル]	安全作業ドレスコードの見える化	<見える化の分類>
[会社名]		安全衛生情報の見える化

<活動の概要>

- 目的(課題)
これまで現場入場時の正しい装備(服装や保護具の仕様と装着、以下ドレスコード)が、作業員にわかりづらかった。
- 手段(実施内容)
そこで、ドレスコードを、一目でわかるよう現場作業別に見える化し、掲示した。
- 効果(実施内容によって期待される効果)
各作業ごとに、不足しているもの、必要なものの仕様が明確になり、適切な装備を確認して整備することができる。
- 結果(活動の成果)
現場入場時の服装や保護具仕様を見える化したことで、監督員の説明時間が減り、労働時間短縮につながり、働き方改革の一助となる上、作業員の服装・保護具仕様の間違いが無くなり、より安全に作業できる装備で作業できるようになった。

「見える安全活動」報告書

＜活動の詳細内容＞

[活動のタイトル]

安全作業ドレスコードの見える化



- ・保護帽統一
- ・安全帯は2丁掛け
- ・脚絆使用など

作業別にドレスコードを
掲示してわかりやすくした

- ◆耐切創手袋を記載
- ◆保護メガネ・マスク記載